

4. 鳥類調査結果の概要

4. 鳥類調査結果の概要

(1) 分布状況からみた河川環境の特徴 (資料 II.4.1)

今回とりまとめを行った 44 水系 45 河川で確認された鳥類は、17 目 53 科 260 種でした。確認種数の多かった河川は、北海道地方の石狩川で 140 種、東北地方の雄物川で 140 種、北海道地方の網走川で 122 種、東北地方の阿武隈川で 120 種でした。

(2) 特定種一覧 (資料 II.4.2)

今回とりまとめを行った 45 河川で確認された特定種は、レッドリスト絶滅危惧 IA 類に指定されているクロツラヘラサギ、レッドリスト絶滅危惧 IB 類に指定されているツクシガモ、オジロワシ、クマタカ、セイタカシギ等 37 種でした。特定種の確認された種数が多かった河川としては、九州地方の六角川の 14 種、北海道地方の石狩川と雄物川の 13 種等でした。

(注) 特定種について

本資料においては、次の文献のいずれかに該当する種や亜種を特定種としました。

- ・ 「文化財保護法」の特別天然記念物および天然記念物
- ・ 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種及び緊急指定種
- ・ 環境省(庁)編「レッドデータブック」掲載種(2002)

(3) 外来種一覧 (資料 II.4.3)

今回とりまとめを行った 45 河川で確認された外来種は、アヒル、コジュケイ、ドバト等 11 種でした。

(注) 外来種の選定基準について

本資料における外来種とは、おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物全てを指し、侵入以後に国内に定着した種であるか否かの判断は、困難な種があるため選定の際に考慮していません。また、外来種の選定には、資料 I.6 (49~50 ページ) および 51 ページに掲載した文献と学識者による意見を参考に行っています。

(4) オオハクチョウ・コハクチョウの確認された地域 (資料 II.4.4 (1)、(2))

確認状況の概要は 10 ページに、また、これら選定種の確認状況は 120~121 ページに掲載されています。

(5) カワセミとヤマセミの確認された地域 (資料 II.4.4 (3)、(4))

確認状況の概要は 11 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 122~123 ページに掲載されています。

(6) ミサゴとオオタカの確認された地域 (資料 II.4.4 (5)、(6))

確認状況の概要は 11 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 124~125 ページに掲載されています。

(7) オオヨシキリとコヨシキリの確認された地域 (資料 II.4.4 (7)、(8))

確認状況の概要は 12 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 126~127 ページに掲載されています。

(8) カワウの確認された地域 (資料 II.4.4 (9))

確認状況の概要は 12 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 128 ページに掲載されています。

(9) ハマシギの確認された地域 (資料 II.4.4 (10))

確認状況の概要は 13 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 129 ページに掲載されています。

(10) コアジサシ、コチドリ、イカルチドリの確認された地域 (資料 II.4.4 (11)~(13))

確認状況の概要は 14 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 130~132 ページに掲載されています。

(11) キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイの確認された地域 (資料 II.4.4 (14)~(16))

確認状況の概要は 14 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 133~135 ページに掲載されています。

(12) 分析対象種の確認状況の経年比較 (資料 II.4.5)

これら選定項目の河川ごとの経年確認状況についての比較表は 136 ページに掲載されています。